

現状と課題

○東京2020パラリンピック競技大会の開催を控え、ユニバーサルデザイン2020行動計画が策定されるなど、**心のバリアフリー**を推進する取組が求められている。

- 障害者用駐車場の不適正利用が依然として存在する。
- ◆利用できない原因 → 健常者の駐車が多い42.3%
 - ◆整備してほしい施設 → 1位 医療・福祉施設
2位 スーパー
3位 コンビニ
- 〔平成24年度 東京都調査〕

心のバリアフリー推進に必要なこと〔平成30年3月 内閣府調査〕

- ・学ぶ機会が必要 44.4%
- ・広報・啓発 38.8%

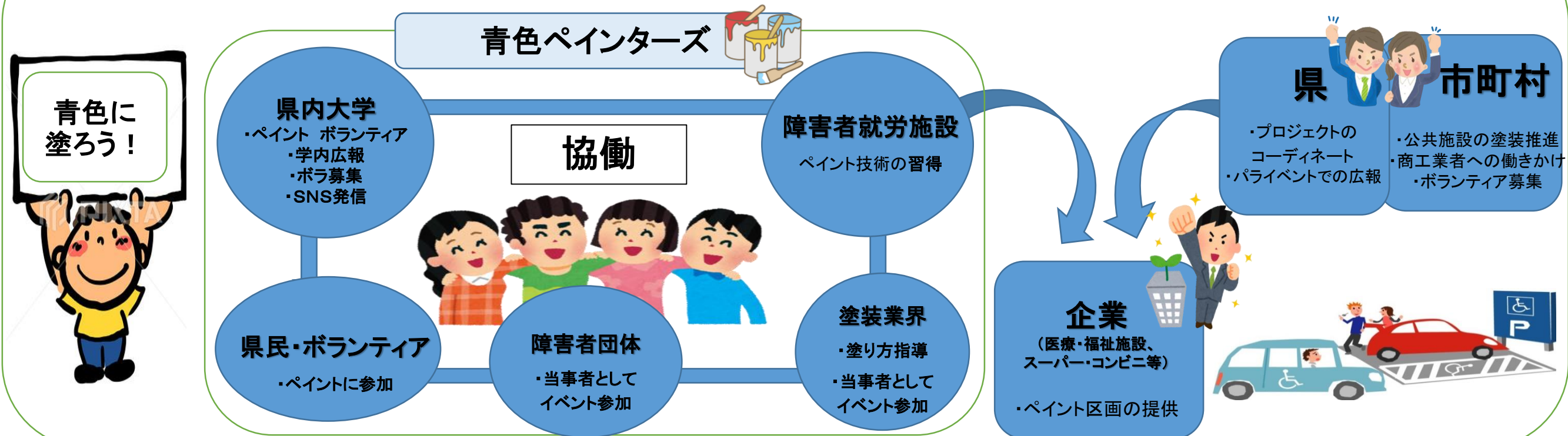
適正利用のために効果的な対策〔平成24年度 東京都調査〕

- ・床面を目立つ色で塗装 67.9%
- ・看板を設置 64.4%
- ・警備員等配置 34.4%

○東京2020パラリンピック競技大会を見据え、関係者・関係機関と連携し、障害者用駐車場の青色塗装の推進が必要
○障害者当事者と企業、将来を担う若者と協働した仕組みづくり

障害者駐車場2020青色プロジェクト事業

○県内各地で20区画のペイントを行い、青色塗装の必要性と適正利用について理解を促進する。



効果

青色塗装の普及／障害者就労施設に職域を拡大